



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年6月定例会を選択すると視聴できます。



むら せ  
**村瀬 ひとし**  
(至誠)

## 企業版ふるさと納税について、実行計画を立て完遂することについて

**問** 令和2年11月定例会での一般質問に対し、市長は本制度を積極的に活用し、戦略的に対応すると答弁されているが、その後について伺う。

**部長** 令和3年2月に開催された静岡県主催のマッチング会に参加し、参加企業に対して本市が提案したプロジェクトへの周知と支援を呼びかけた。また、4月からは、企業版ふるさと納税に特化し、全国の企業に呼びかけを行っており、先月は熊本県の企業から寄附をいただくこととなった。今後もこの取組を積極的にPRし、御寄附をいただけるよう働きかけていく。

**問** 大きな金額を協力いただけるよう、市長からの対象企業への働きかけを切望するが。

**市長** 先日、富士宮市在住で他市にある優良企

業の代表をお願いをしたところ、企業版ふるさと納税の了承をいただいたところである。市内には大手8社があり、これらの企業の方々に税制優遇措置の実態をよく説明しトップセールスとして私も積極的に頑張りたいと思う。

## 身寄りのない独居高齢者の最期の相談事業の立ち上げとエンディングノートについて

**問** エンディングサポート事業を立ち上げる考えはあるかについて伺う。

**部長** 他自治体においてはエンディングサポート事業として、葬儀会社と生前契約を結ばれた個人契約書の保管を行っているが、現在当市にこの事業を行ってほしいとの要望はなく、必要都度地域包括支援センターで相談を受けている。

**市長** 近い将来、市として、この事業を全面的に展開していかねばならないときが来るのではないかと思われる。時代に乗り遅れないというか、時代の先駆けとなるよう、研究し、お年寄りが安心して老後を過ごせるよう、そのようなまちづくりをして行きたいと思う。



さ の かずひこ  
**佐野 和彦**  
(富岳会)

## 感染症対策の検証と改善を考える

**問** 感染症対策の検証について。

**部長** 政府が示す統一的指針である新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針がある。これは、感染症対策分科会等で対策が審議され、随時更新されている。そのため、検証や改善については、本市独自で行うものではなく、この対処方針の変更に注視し周知する。

**問** 新型コロナワクチン接種で副反応が出たときの市立病院の受入れ態勢について。

**部長** ワクチン接種後15～30分は経過観察し、症状が起こった場合は、医師が確認し薬を投与し、悪化したときはアドレナリン注射等の措置を行う。また、集団接種会場で緊急搬送が必要な時は、医師から一報を受け搬送し適切に対応。

**問** 副反応が出た場合の救急搬送について。

**部長** ワクチン接種後、救急要請に至った発症者は、速やかに緊急医療機関に搬送する体制を確保するため、関係機関と連携していく。

**意見** 副反応が多い若い世代に、メリットとデメリットをしっかりと伝えてほしい。

## 終活と葬儀費用を考える

**問** 国民健康保険被保険者が亡くなった際、葬祭費支払いが認められないケースはあるか。

**部長** 支給対象は、葬祭を行った方に対して葬儀費用を補助するもの。葬儀を行わず火葬のみの直葬は対象外となる。

**問** 病院で亡くなった場合、民間の霊柩車を頼むと高額になるが市ができることはないか。

**部長** 事業者には、ご遺族から費用の相談があったとき、市の霊柩車も選択肢として提案できるように依頼し、選択の幅を広げられるよう周知していきたい。また、葬儀の形態が多様化する中必要な場合は市の霊柩車を利用してほしい。

**意見** 市の古い霊柩車について、市民が一番最後に乗る車なので、交換を希望する。